

2 月の天候

2022 年（令和 4 年）2 月の日本の天候は、東・西日本の気温は低く、東・西日本日本海側の降雪量は多くなりました。西日本の降水量はかなり少なく、東日本太平洋側と西日本の日照時間は多くなりました。沖縄・奄美の降水量はかなり多く、日照時間は少くなりました。

2022 年（令和 4 年）2 月の天候の特徴は以下のとおりです。

○東・西日本の気温は低く、東・西日本日本海側の降雪量は多くなりました
冬型の気圧配置が強い日が多く、強い寒気の影響を受けた東・西日本の気温は低く、東・西日本日本海側の降雪量は多くなりました。また、東日本日本海側では、降水量は多く、日照時間は少くなりました。

○西日本の降水量はかなり少なく、東日本太平洋側と西日本の日照時間は多くなりました
低気圧の影響を受けにくかったため、西日本の降水量はかなり少なく、西日本日本海側では 1946 年の統計開始以降で 2 月として最も少ない記録を更新しました。また、東日本太平洋側と西日本の日照時間は多くなりました。

○沖縄・奄美の降水量はかなり多く、日照時間は少くなりました
沖縄・奄美では、中旬にかけて前線や低気圧の影響を受けやすく、下旬を中心に寒気の影響を受けやすかったため、降水量はかなり多く、日照時間は少くなりました。

別紙（概況、統計値等）[PDF 形式:521KB]

https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/stat/tenko202202_besshi.pdf

問合せ先：大気海洋部 観測整備計画課 担当 村井（観測値や記録について）
電話 03-6758-3900（内線 4268）
大気海洋部 気候情報課 担当 及川（天候の解説について）
電話 03-6758-3900（内線 4546）